

氏名	気づいたこと	今回学んだことトップ3		
		1	2	3
CF0	鳥取再資源化研究所や、エナテクスなど北栄町の環境をよくするために様々な工夫がなされていたこと。	ポーラスαは国内だけでなく、世界中で使用されており、アフリカでは土壌改良のために使用されている。またヨーロッパでは、水質汚濁改善の為に使用されており、各国によって使い方は大きく異なってくるということが分かった。	Kセンターにて学んだことは8月になるとペットボトルの量が増えること、また近年では雑誌の量が減少しているが、ダンボールの量が増加していることが分かった。	3年間のエネルギー収支を限りなくゼロにするために建築物には様々な工夫がなされていることが分かった。例えば窓を3重にしたり、壁断熱材を使用していることが挙げられる。
	ペットボトルやガラス瓶をリサイクルしてポーラスαという石みみたいなものをつくって、それを土壌改良、水質浄化とかに使っていた。	ペットボトルやガラス瓶をリサイクルしてポーラスα等を作って別のことに役立っていること。	エナテクスさんが二酸化炭素を出さないように電気を作って温暖化対策をしていること。	なし
	鳥取再資源化研究所では瓶が月に50～60t集まるということが分かった。ポーラスαは色々な面で活用できることに気づいた。SDGsなど環境をよりよくする会社や企業は見学した場所以外にも、まだ知られていない場所があるのではと感じた。	ポーラスαは日本で使用するのには脱臭として使うことが分かった。また、瓶でもワイン瓶では溶けないように工夫していることが分かった。スポンジケーキのような形だと知れた。	エナテクスという場所は、省エネをるところだと知った。停電の時に全部のエネルギーが使えるようなシステムがあることが分かった。	Kセンターでは、牛乳パックや段ボールなどを固める作業をしていることが分かった。夏にはペットボトルの量が多いことが知れた。
	風車は町のシンボル。だが、いろいろな条件により取り壊されてしまう。エナテクスは脱炭素の推進と経済循環を実現していくには20～30年かかると知った。Kセンターは混載ではなく、分別している。	ガラスを作っているところで1番危ないのは、鉛ガラス。	日本が輸入している額は118兆円。化石燃料は33兆円輸入して使っている。エネルギー代金は約100億円。	ガラス瓶を砕く→粉にする→粉だけ→混ぜる→熱をかける（900～1000度）→割る→用途別に出荷するというのが分かった。

新たに生まれた疑問など	その他感じたこと
<p>何で鳥取県ではごみの分別を行う時、清潔にしてからだと傾向が他の県に比べて高いのだろうか？</p>	<p>鳥取再資源化研究所では、再生資源化研究所にしかない特別な作業工程を作り上げる為に、様々な工夫を行っておりすごいと思った。</p>
<p>なし</p>	<p>瓶とかでもリサイクルしたら、全く関係のない土をよくすることにつなげれることがすごかった。</p>
<p>私は知らないことが多くて、他の北栄町民の方は、環境をより良くする団体のことを知っているのかなと思います。SNSなどを活用して、全国に知らせれば誰かに届くと思います。ポラスαをぶどう農家に活用していますが、良い品質のぶどうが出来るか知りたいです。</p>	<p>北栄町出身ですが、まだわからないことがたくさんあり、今日の経験でもっと知ることができた。身近にある建物でも知らないと分からなかった。</p>
<p>脱炭素に関してで、今取り組んでいる活動以外に取り組んでいる活動、対策を知りたい。</p>	<p>日本は今、二酸化炭素消費量が世界で5位と聞いてびっくりした。</p>